



コミュニティぬまづ第一

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙

第4号

平成10年1月1日発行

年頭の挨拶

『佳一人ひとりが輝く街・第一を』

沼津市長 斎藤 衛



輝かしい平成十年の新春を迎え
謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より沼津市政
に対し温かいご支援ご協力を賜り
心から感謝し、厚く御礼申し上げ
ます。

さて昨年は、第一地区にとりま
しては、待望の地区センターが完
成し、地区コミュニティ推進委員
会も充実し、まさに地区コミュニ
ティの新たな出発の年となった
ことを、心よりお喜び申し上げま
す。

国際化、情報化、少子化、高齢
化等、社会情勢は急速に変化して
まいりました。こうした中、地域
の皆さんがお互いの知恵と力を出
し合い、支えながら自らの住む地
域をより良いものにしていく。そ
して、誰もが住んでいることを誇
りに思い、心から愛着を感じるこ
とのできる街をつくり上げていく。

そうした努力の積み重ねこそコミ
ュニティ活動の原点であり、私の
理想とする地域づくりであります。

幸いにも皆様方の住むこの第一
地区には、これまで多くの先人が
築き上げてこられた素晴らしい伝
統が脈々と今に受け継がれており
ます。そうした伝統と皆様方の情

熱を礎に、地区まちづくりが進め
られたとき、私の願う「市民一人
ひとりが輝く都市・沼津」が必ず
実現されるものと考えております
二十一世紀はもう目の前に迫っ
てまいりました。

皆様の住む第一地区が、そして
沼津市が、新しい時代においても
素晴らしい街であるよう、力の限
りまちづくりに取り組んでいく所
存でございます。

あらためて皆様方のご協力とか
わらぬご支援をお願いするととも
に、第一地区の更なる発展を祈念
し、年頭の挨拶とさせていただきます。

第一地区センター利用者一万人を達成

第一地区センターの利用者
が十月十五日に累計一万人を



達成した。幸運な一万人目、
末広町の主婦牧野ふみえさん
に落合錦一・第一コミ副会長
から記念品が贈られた。

地区センターは、四月一日
にオープン。コミュニティ活
動に積極的に利用され、社会
体育、文化、学校、役所など
各関係団体も活発に利用、半
年余で一万人というスピード
達成であった。

（関係記事・4面に掲載）
▲右から二人目が牧野さん

平成9年度 コミュニティ文化祭（仮名）のお知らせ

- ・日時 平成10年3月22日（日）
AM9:30～PM3:30
- ・場所 第一地区センターおよび
第一小学校体育館
- ・主催 第一地区コミュニティ推進委員会
- ・内容 絵画、書道、生け花等の展示物
体育館でのアトラクション
センター前等での模擬店ほか

※以上のような内容を予定しておりますが、
詳細は、現在計画準備中であり、決まり
次第みなさまにお知らせします。

（コミュニティ文化祭準備委員会）

消防団火災指導員訓練

地域防災訓練(会場型)

を終わって

十二月七日(日)、夜来の

雨も上がり暖かな好天の中、

「第一地区地域防災訓練

(会場型)」が実施された。

『午前九時 マグニチュード

8、震度6以上の揺れに襲

われ、市内に大きな被害が

発生し、第一地区住民は九

時三十分 前線基地 第一

小学校に避難集合せよ』

の想定の上に訓練に入った。

▼午前八時から各自治会の防

災指導部員と補助者により、

訓練会場の設営に入り、借用

資機材を設置し、訓練準備を

完了した。

▼九時三十分訓練開始式

①開始宣言 落合コミ副会長

②挨拶 副島コミ会長

③訓練説明 鈴木防災指導員

▼式後の訓練は、沼津南消防

署員の指導と地元消防第二分

団員、市防災地震課員、市前

線基地職員の応援により、行



第一地区十三自治会を3班に組分けし、次の3会場を各三十五分の限られた短時間で習得するという訓練となった。

①可搬ポンプ取扱訓練・水バ

ケツリレー消火訓練

②消火器取扱訓練・てんぷら

油消火訓練・発電機等取扱

訓練・煙体験

③救急救護訓練・非常食炊飯

訓練と試食体験

▼地域防災訓練は「地域ぐる

み・家族ぐるみ」の防災訓練

であるが、今回の参加者は、

大人 四五一一名

小学生 一四二名

中学生 一二三名

高校生 一名

幼児 三名

合計 七二〇名

と昨年の四七三名を大幅に

上回る多数の参加者があり、

防災意識が年々薄れていると

言われる昨今、第一地区健在

なりを示してくれました。

▼特に小学生、中学生が多数

参加されましたが、これは、

「防災訓練の重要性、地域の

取組を見、地域との触れ合い

を大事にしたい」と言われる

正村第一中学校長、佐野第一

小学校長、両校長先生の防災

イズムの浸透と思われます。

▼十一時三十分訓練終了式

①講評 森田南消防署長

②終了宣言 岡田コミ副会長

講評のなかで森田署長が言

われた「阪神淡路大震災」時

の地域住民の助け合いの大切

さ、この原点となる防災訓練

の重要性を再認識いたしまし

た。

▼「備えあって 患なし」を

感じた半日でした。

〔防災指導部長

鈴木 哲雄〕

白銀町自主防災会

消防団第二分団との合同防災訓練を実施

去る十一月十六日「子持川

水系をきれいにする会」の一

斉清掃に合わせ、第二分団と

白銀町自主防災会の合同防災

訓練を行った。清掃終了後の

九時三十分より、土のう作り

に始まり、町内月見橋下を土

のうでせき止めて水利とし、

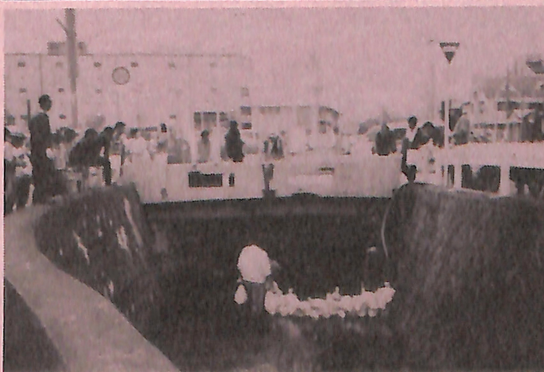
可搬ポンプによる放水、ポン

プから消防車への中継、また

この逆の放水訓練も行った。

災害時に消火栓が使用でき

ないときの代替えとして、子



持川の水は渇水期でも十分まかなえることがわかり大きな成果であった。

また、このあと児童公園において分団員の指導で、チェンソー・鉄筋カッター・発電機取扱訓練・手品を見ているようなロープワーク等実践的で本当に有意義な訓練となりました。

この自主防災訓練参加者は五十名でしたが、今後も色々な事を学びながら「東海大地震」に備えたいと思います。

この合同訓練にご協力いただいた地元消防第二分団の分団長始め団員の方々には、機材の貸出や多忙のなか、労力の提供までしていただき感謝しております。これからも地域のためにご尽力いただけますようよろしくお願いいたします。

〔白銀町自治会長

石井 一雄〕



沼津第一中学校

創立五十周年記念事業行

一中の創立五十周年記念式典が十一月十五日に一中体育館で行われました。

この記念すべき校史の節目にあたり、創立以来の足跡を振り返り、今後更なる発展を期するために、PTAと学校が中心となり、平成七年に実行委員会を組織し、色々の行事を行いました。

記念式典には、沼津市長や国會議員など五十名の来賓のもと、挨拶、祝辞のあと在校生による記念合唱があり、一中らしさ溢れる感動的なものでした。

また記念講演は、本校第二回卒業生でニュースキャスターの筑紫哲也氏を講師に迎え「多事総論」と題して、中学生にも解りやすく「異論反論オブジェクション、自然と一対となり、違う意見をたくさん聞いて、自分の意見を知ることが大切である」とのお話をいただきました。

他の行事としては、記念誌

の発刊。記念文庫として、旧校舎の階段に使用されていた板に、斉藤市長揮毫の記念プレートを設置し、千冊を越える図書を三階図書室に収めることが出来ました。

一連の記念事業が滞りなく行えたのは、記念事業の趣旨にご賛同いただいた第一地区の皆様方の多大なるご支援、ご協力の賜物と感謝にたえません。厚く御礼申し上げます。

沼津市立第一中学校
創立五十周年記念事業
実行委員長 露木 博行

創立50周年記念
沼津市立第一中学校



新成人の

皆さんへ



第一地区の成人式を、平成十年一月十五日に「高砂殿」において行います。

新成人の皆さんには、沼津市からは発送しましたが、町内の青少年育成員も、地区の案内状を持って訪問いたします。もし届かない場合は、一月八日までにご連絡ください。

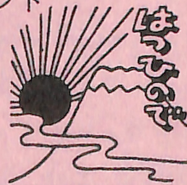
また、沼津市出身で、現在他地区にお住まいの人でも、出席希望の方は連絡をいただければ、案内状をお送りいたします。ご家族の方や友人等から知らせてあげてください。

▼問い合わせ先
・第一校区青少年育成推進員
酒井 明 〇六二二一九八八
沼津市青少年課
〇五一一三四二〇

「青少年育成推進委員会」
酒井 明

香貫山山頂で御来光

- ・集合 1月元旦午前5時30分
- ・場所 第一小学校グランド
- ・午前5時50分出発で
山頂まで約50分
- ・参加者全員に参加賞

初打ち紅白
ソフトボール大会

- ・集合 1月元旦午前9時30分
- ・場所 第一小学校グランド
- ・午前10時00分試合開始
- ・ホームラン競争もあります
- ・参加者全員に参加賞

初アタック紅白
バレーボール大会

- ・集合 1月4日(日)
午前10時
- ・場所 第一小学校体育館
- ・参加者全員に参加賞



第一校区 どんど焼

- ・日時 1月15日(成人の日)
午前8時30分に点火(雨天決行)
- ・場所 第一小学校グランド
- ・おだんごは各町内子供会で用意します
皆様多数のご参加をお待ちします

青少年育成連絡協議会

◆三枚橋城と沼津城◆

一五七七年(天正五年)、武田勝頼が車返しの地に、三枚橋城を築いた。この城は後の沼津城よりも規模が大きく3倍程あり、三重の巨大な塀がめぐっていたといわれる。一六一三年(慶長一八年)5代目の城主・大久保忠左(七七歳)の死とともに廃城となった。

一七七七年(安永六年)水野出羽守忠友が、10代將軍徳川家治から沼津の地を拝領し、三枚橋城の跡に新たに沼津城を築いた。沼津藩の拠点となった沼津の町は、軍事的な機能を持った城下町として再建されたものではなく、従来の宿場町の機能の上に城が建設されたといわれる。千本松原越しに駿河湾が望まれる美しい眺めから、観潮(しおみ)城ともいわれた。



▲広重の絵に見る沼津城

▶発掘された三枚橋城の石垣



賀正

本年もよろしくお願い申し上げます
沼津第一地区コミュニティ推進委員会・広報紙編集委員会

「趙 燕京氏の書」
八幡町 杉山 一彦様贈
「下駄箱」
大手町 山田 義一様贈
ありがとうございました。

地区センター寄贈品

◆地区センター利用状況◆

月別	回数	利用者人数
4月	39	1,161
5月	66	1,437
6月	67	1,727
7月	83	1,925
8月	58	1,219
9月	76	1,426
10月	102	2,129
11月	89	1,501
12月	70	1,700
累計	650	14,225

*12月は予定利用数です。

◎年末年始の休館日◎
12月29日から
1月5日まで

地区センター ☎ 63-5088

沼津第一地区

戦後の歩み (その4)

14. 一小に「児童愛育大学」を開設。

愛育大学の基本理念は『教育は、学校の専売事業でも教師独占の活動でもない。人格形成の基盤は家庭であり両親の生活態度でもあり、PTAは講演会などで各論卓説を耳にして感銘するだけでなく、これを児童の生活におろして、その中で共通の広場を求め、親子同行の教育を実現したい』。昭和41年7月19日に①愛育②コーラス③体育④読書の四コースの開講式を行った。そして体育コースではバレーボールをとりいれた。

15. 一小創立百周年記念式典を盛大に行う。

昭和43年9月13日瀬尾文部大臣代理を迎え、記念式典を行う。記念事業として①記念誌『百年の追憶』の発行②「物故者慰霊祭」、「はばたきの像」除幕式、資料展の開催③児童愛護会の復活と実践などを行った。

16. 一中にサブグラウンド、水泳プールが完成。

昭和43年旧沼商運動場の一部の用地(約千三百坪)を購入し、46年にバレーコート2面、バスケットコート1面、テニスコート2面が完成。昭和44年7月には運動場北側に25mプールと付属施設が完成。

